



1999

topics

「関東大学バスケットボール連盟」に改称
 第39回関東大学新人戦 6位
 個人賞 3ポイント王 高橋恒太郎君（2年）、
 リバウンド王 佐藤健介君（1年）

男子

Data

慶早戦	○ K80 - 65W ●
慶関戦	2勝
トーナメント	ベスト16 (61 - 74大東文化)
リーグ戦	2部 2位 (10勝4敗)
	入替戦残留 (70 - 95日本大)
インカレ	2回戦 (65 - 81京都産業)

●ベストゲーム 落 慶久

この度は、慶應義塾体育会バスケットボール部創部75周年、誠におめでとうございます。

75周年誌の発刊にあたり、私たちの代での思い出・印象に残っている出来事といえば、私の独断ですが、秋のリーグ戦第6週の筑波大との2連戦ではないかと思います。

私たちの代は、12名の大所帯でありましたが、新チームスタート時のミーティングで、2つの事柄をチームのコンセプトとして設定しました。

1. チームメイトを尊敬し、揺るがない信頼関係を築く。
2. 当たり前のことをしっかり、当たり前に行う。

この2本柱を軸に「秋のリーグ戦優勝、1部昇格」を目標とし、日々厳しい練習・合宿を繰り返し、春の慶早戦を制し、秋のリーグ戦も5週目まで8勝2敗の2位で、首位攻防の筑波大との2連戦を迎えました。

筑波大は、スタメン5人及びベンチプレーヤーにも数名高校日本代表を経験したことがある選手を擁し、5週目まで10戦全勝で本塾が1敗してしまった時点で優勝が決まるという状況での2連戦でした。

初戦、本塾は持ち味である厳しいディフェンスから速攻を繰り出し、リードを奪い、上背で勝る筑波大の攻撃を何とか耐え、オフェンスでもポイントを絞り、それぞれの役割をしっかりと選手一人ひとりが認識しながら、試合に出ているメンバーもベンチプレーヤーもしっかりとできることを愚直に実行し、勝利することができました。

この初戦での勝利は、チーム全員(選手、スタッフ)がそれぞれ役割を認識しながら、それを集中力を切らすことなく、それまで春先から繰り返し練習してきた成果がすべて出た結果でした。

第2戦、この試合に勝ち、最終週に2連勝できれば、悲願の1部昇格が決まる大事な1戦でした。出だし、筑波大は前日の敗戦が嘘のようにスパートをかけ、前半終了時には、17点差をつけられるような状態でした。今までなら、この時点で集中力が切れてしまうところでしたが、この試合に関しては、後半スタートの時点でチーム全員が気持ちをリセットし、前日のように、それぞれの役割を愚直に実行し、残り3分までに5点差まで追いつきました。

しかし、無常にも試合終了の笛がなり、結果は10点差の敗戦となってしまいました。

私個人的には、勝った初戦よりも負けてしまった第2戦の方が、くっきりと思い出に残っています。今までのチームであれば、あきらめていたシチュエーションで、4年生だけでなく、

選手だけでなく、スタッフ、観客席で観戦していたメンバーでさえも勝利をあきらめなかった。

その中でプレーしていることに喜びを感じ、身震いしたことを今でも憶えています。

今思えば、私たちの代のチームは、個性と個性とがぶつかり合いながらもそれぞれが、役割を認識し、目標に向かってチーム一丸となった本当にいいチームだったと思います。

結果的には目標は達成できませんでしたが、選手それぞれは色々なものを学ぶことができたはずで。

そのチームの中で、主将を務めさせていただいたのは、私の人生の中で非常にいい経験となったと思います。この1年で悩みながらも学び、仲間と話し、目標に向かって必死に走り続けたこと、このことは間違いなく今日の私の人生に大きく影響を与えています。

社会人となり、その組織の中での自分の役割を認識しながら愚直に実行する。間違いなく塾体育会バスケットボール部での経験が、今の自分を形成しているということが出来ます。

最後に、このような貴重な経験と思い出を作ってくれたチームメイト、それを支えていただいた戸崎監督、宮本ヘッドコーチをはじめスタッフの皆様、応援して下さった諸先輩方に心から感謝の意を表します。ありがとうございました。

今後も慶應義塾体育会バスケットボール部が、一層飛躍することを祈念いたします。

99年メンバー

部	長	井田 良
監	督	戸崎 洋
コ	ー	宮本 充
A・	コ	魚住 剛一郎
主	将	落 慶久(秦野)
主	務	三橋 正継(慶應義塾)
選	手	一柳 達也(慶應義塾)、岡部 友和(磐城)、椎橋 航一郎(東京学芸附)、末本 裕幸(高松商業)、秦野 修司(大分舞鶴)、松本 直仁(防府)
学生スタッフ		中村 剛士(慶應義塾)、上山 弘修(慶應義塾)、川島 知広(慶應義塾志木)、桃園 秀一朗(慶應義塾)

女子

Data

慶早戦	● K40 - 92W ○
慶関戦	1勝1敗
トーナメント	1回戦 (45 - 77神奈川大)
リーグ戦	3部5位 (6勝3敗)
六大学対抗戦	3位 (3勝2敗)



左から増原裕子、今村彩子、高木淳子

五味 (今村) 彩子

2006年のNCAA (全米大学男子体育協会) バスケットボールトーナメント優勝校が、当時私の住んでいたフロリダ州立大学だった。アメリカに駐在員の家族として住んで5年、バスケットボールから遠ざかっていたが、駐在最後の年に地元の大学が勝ち進んでいることもあり、久しぶりにTVにかじりついてバスケットボールにのめり込むことができた。バスケットボールの本拠地アメリカ、しかも男子の大会なので私達のレベルとは桁違いであることは言うまでもないが、彼らが熱くプレイするのを応援しながら、当時の自分達に照らし合わせ、学生時代に懐かしく思いを馳せるよい機会になった。

大学時代の思い出は、喜怒哀楽などそれぞれに枚挙に暇が無いが、最も印象に残っていることといえば、「部員が少なかった」ことであろう。原稿を書くに当たり、同学年の2人に思い出を尋ねてみたところ、真っ先に同じ答えが返ってきた。

私達の代は4年3人、3年3人、2年3人、1年1人の合計10人という小所帯であり、学生トレーナーが不在であった。部員が少ないというのは、チームが一つにまとまりやすい、などのよい点もあるが、何よりも私達の頭を悩ませたのは、少人数でもできる練習を考えることであった。平日の練習は、授業のために遅刻・欠席の選手もいた。10人全員揃うことが滅多に無かったために、練習中は自分の順番が終わった直後にまたすぐ順番が来る…3時間の練習時間だとしたら文字通り、3時間走り通し、という具合で家に帰り着く頃にはクタクタになっていた。しかしそんな中、支えになったのは、OB・OGの方々や男子部のスタッフ陣の協力であった。練習中に5対5をするだけでも部員総出であるため、怪我人がでると5対5もままならなかったが、先輩や男子スタッフのご尽力で何とかゲーム形式の練習をすることができた。私達の代ほど、周りの方々に支えて頂いて成り立っていたチームはないのではないだろうか。練習や試合にお越し頂いたOB・OGの方々からのアドバイスは、それぞれの学生時代のご経験になぞらえたものが多く、ご自身の学生時代に誇りを持っておられていることが伝わってきた。結果としては、2部入替戦出場・2部昇格という目標を達成できず、3部5位という成績に終わってしまった。しかし私達は先輩方同様、部活動で経験した集団生活、けじめ、交友関係などを、今の人生に有効に反映させていると言えるであろう。年を重ねるごとに細かい出来事は忘れてしまうが、全身全霊を掛けて頑張ったことは、私達の自信に繋がっており、仕事や生活の面で多少辛いことがあっても、学生時代を思い浮かべることで自分を励ますことができるのも、部活動の経験のお蔭であろう。

話はNCAAに戻るが、NCAAは全試合をTVで放映しているので、学生スポーツを身近に感じることができる。それらを観戦していて、大学のものとは思えないほど立派な体育館や、地域が一丸となってしている応援など、その1つ1つが日本のそれとは大きな差があることを感じた。アメリカに比べると日本の学生スポーツに対する国民の関心が低いことに加え、バスケットボール自体は学校の部活動にはほとんどあるスポーツにもかかわらず、残念ながらそこまで浸透していないのではないだろうか。「こんなに面白いスポーツなのに何故?」と思うのだが、バスケットボールのプロリーグもできたこの機会に、今後慶應のバスケットボール部、更には日本のバスケットボール界全体が発展していくことに期待したい。



増原



今村



'99年 六大学対抗戦(引退試合)



引退試合 高木のポストプレー

99年メンバー

部 長	井田 良
監 督	濱中 貞一
コ ー チ	岩井 博
主 将	五味 (今村) 彩子 (慶應義塾女子)
主務兼選手	鈴木 (高木) 淳子 (慶應義塾女子)
選 手	増原 裕子 (慶應義塾女子)



練習後の風景

1999年の出来事

- ・日本銀行、ゼロ金利政策実施 (3/3)
- ・NATO軍によるユーゴスラビア空爆開始 (3/24)
- ・佐渡トキ保護センターで国内初の人工孵化によるひな「優優」誕生 (5/21)
- ・ソニーが犬に似たロボットAIBOの販売を発表 (6/1)
- ・東海村民間核燃料施設で臨界事故 (9/30)
- ・マカオがポルトガルから中国に返還 (12/21)
- ・世界人口、60億人突破

主な大会

大会名	優勝チーム
・第51回インカレ (男子)	日体大
・第46回インカレ (女子)	愛知学泉大
・第75回ALL JAPAN	東芝
・第20回ユニバーシアード(バルマ)	アメリカ
・第20回アジア選手権 (福岡)	中国